

農学研究科

【入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）】

農学研究科は、農学の持つ多面性と専門性に対応できる複眼的で総合的な判断力やバランス感覚を有する人材を育成するとともに、多様化・複雑化した社会の要請に対応できる高度な専門的知識と技術を有し、研究、調査、開発といった創造的な事業に従事するための実践的な能力を有する高度な専門人材の育成を目指しています。農学研究科の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

各専門分野や学際領域の研究の発展・深化・さらには多様化・複雑化する社会の要請に対応するため、さらに高い専門的知識を得ようとする人材を国内外から広く求めています。

修士課程

（農学専攻）

農学専攻では、安全な農畜産物の持続的生産やそれを担う農業経営、地域の活性化等の研究領域においてより高度な知識を修めるとともに、実践的な能力を養うためのプログラム、微生物・動物・植物等の生物資源を対象とし、バイオテクノロジー等の先端的手法を駆使した開発・改良と有効利用についての専門的なプログラム、森林科学ならびに水土環境科学に関する専門的な講義、演習を主体とするプログラム、地域および国際的な視点での自然との共生を念頭においたプログラム等を展開し、地域社会や国際社会における諸問題を解決し、人類社会の進歩と福祉に貢献できる独創的な科学技術開発を担う研究者、技術者や創造的な事業に従事できる人材を養成するため、各指導教員による個別指導を軸としたきめ細やかな教育と研究を行っています。

農学専攻の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生

- 地域貢献や国際貢献について理解と意欲のある人
- フィールドを通して体得した環境保全型生物生産や限られた資源を活かす食農環境マネジメントに関する基礎的な知識をさらに深めたいと思う人
- 生命現象の解明、バイオテクノロジーなどの新技術や応用に関心があり、有用な生物資源の開発と改良、生物による環境浄化、食物の品質保持や健康機能性の解明やその応用に興味のある人
- 森林や河川に興味があり、身につけた問題解決プロセスを社会に還元したいと考えている人

◆入学者選抜の基本方針

上記の求める学生像で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜する。

- （１）一般入試（口頭試問（プレゼンテーションを含む。）と志願者から提出された書類を総合して判定）
- （２）社会人入試（口頭試問（プレゼンテーションを含む。）と志願者から提出された書類を総合して判定）

- (3) 外国人留学生入試（口頭試問（プレゼンテーションを含む。）と志願者から提出された書類を総合して判定）
- (4) 外国人留学生推薦入試（志願者から提出された書類を総合して判定）
- (5) 推薦入試（志願者から提出された書類を総合して判定）